

# 長引くせきにご用心!!



## 9月24日～30日は『結核予防週間』です！

結核は「過去の病気」ではなく、今でも国内で毎年2万1千人以上の方が新たに発病されている、日本で最大級の感染症の一つです。

中和保健所管内でも、平成26年には84人の患者が見つかり、うち約20%(5人に1人)が20～59歳の働き盛り世代でした。

結核のかかり始めの症状には、せき、たん等、風邪症状とよく似ているため、発見が遅れがちです。

結核を早く見つけて、早く治療することで、本人だけでなく、大切な家族や職場などへの感染の拡大を防ぐこととなります。

2週間以上のせきやたんが続くなどの症状があれば、早めに医療機関を受診しましょう。



### 結核とは

結核菌が原因で発病する感染症です。感染源となる患者の咳やくしゃみとともに、含まれる結核菌を吸い込むことでうつります。結核の患者さんを減らすためには…

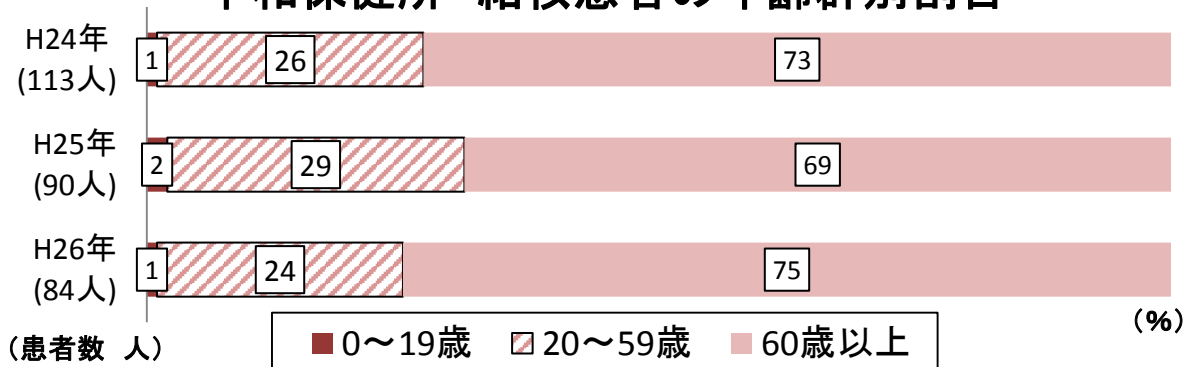
★日頃から、ご自身の健康管理に気をつけましょう。

★2週間以上続く長い咳、痰、微熱などの結核を疑う症状があったときには、早めに受診するようにしましょう。

### 中和保健所管内で見つかった結核患者さんの内、約24%(5人に1人)は働き盛りの人々です。

中和保健所管内における結核患者発生数は、年々減少傾向にあります。患者さんを年齢群別に分類すると、20歳～59歳代の働き盛り世代の方々が占める割合は、ほぼ横ばいで推移しており、平成26年で24%、約5人に1人を占めています。

### 中和保健所 結核患者の年齢群別割合



発行：奈良県中和保健所 保健予防課感染症係  
〒634-8507 橿原市常盤町605番地の5  
TEL 0744-48-3037

!